

1月に入り、雪が降るような寒い日もあれば、お日様が出てぽかぽかと暖かい日もありますね。1月初旬に少し雪が積もった日は、屋上で雪遊びをしました。園では初めての雪遊び。わずかな雪でしたが、お友だちと一緒に雪を丸めて雪だるまを作ったり、保育者と一緒に雪玉を投げ合い雪合戦をしたりして、雪に触れながら遊び楽しみました。また、天気の良い日には園庭に出て、体を動かして遊びます。最近では、ハンター鬼ごっこやバナナ鬼ごっこを楽しんでいて、たくさん走っているうちにだんだんと体があたままで暖かくなってきている子どもたちの姿もあります。

さくら組での生活も残り2か月程ですが、子どもたちと一緒に楽しく過ごしていきたいと思います。

切ったり折ったりするって楽しいな♡

さくら組になってから、お部屋の遊びの中で少しずつ取り入れていたハサミを使った遊び。最初の頃は真っすぐ切るだけだったのですが、最近では、丸い形に切ったり、広告の中にある、好きなキャラクターや果物などを見つけ、切ったりすることも出来るようになってきました。先日、ハサミを使って節分の制作「おに」を作りました。ハサミで自由におにの顔や角、目、鼻、口などを表現して切り、一人一人とっても個性豊かなおにが出来上がりました。

また、広告を折ってハートを作ったり、財布のような入れ物を作ったりする姿もあったので、1月初旬に季節の制作で今年の干支「へび」を折り紙で折ってみました。保育者が「こうやって折るんだよ」と折り方を見せると、真剣に折り方を見て、同じように折ってみようとする姿がありました。「アイロンかけるよ」と伝えると、折ったところを指でしっかりと折り目がつくようにします。今は、折り紙でカエルを折ることがブームになっていて、折ってみようとする子の姿も増えてきました。

「作ってみたい!」という気持ちを大切に、さりげなく手助けしていきながら、作りたいものが出来た時の喜びが味わえたらいいと思っています。



～伝承遊びをしたよ～

インフルエンザが流行していた時期だということもあり、予定されていた祖父母の方との伝承遊びの会は中止になってしまいましたが、子どもたちは様々な伝承遊びに触れ楽しんでいます。

「伝承遊びって、皆のおいしいちゃんやおばあちゃんが皆と同じように子どもだった時に遊んでいた遊びだよ。」と伝えると、「…へえ～」といった様子で、いまピンと来ていないようでした。実際に、福笑いやコマ、おてだま、あやとり、竹ぼっくりなどを楽しんでいるうちに、伝承遊びというものの楽しさが分かってきたようです。あまり慣れ親しんでいる遊びではないのですが、保育者が遊び方を知らせるとすぐ遊び方を覚え、自分で挑戦してみようとする姿がありましたよ。



～おねがい～

2月より、給食時のお弁当箱をきんちゃく袋ではなく、ハンカチ包みにしていきたいと思っています。まだ上手く出来ない子もいますので、園でも練習をして一人で出来るようになった子から、お帳面をお願いしていきます。ハンカチのサイズは45センチの正方形です。よろしくお願いします。